

『塗り足し』と『トンボ』とは

紙面の端の部分まで色や写真が入るデザインの場合、データ上で紙面ギリギリの所まで作成すると断裁の際にほんの僅かなズレが生じただけで、用紙の色（白地）が出てしまう可能性があります。それを防ぐため、仕上サイズの外側まで少し（3mm程）余分に色や写真の幅を広げておく必要があります。これを『塗り足し（ぬりたし）』といいます。

仕上がり位置を指定するための印が『トンボ』です。内側のトンボで切った位置が仕上がり位置となります。

